

合算経費

合算経費を作成する (1つの設計書内で合算)

合算経費設計書を作成し、合算経費計算を行います。

❖ 合算経費は一つの設計書で作成する方法と、複数の設計書を合算する方法があります。

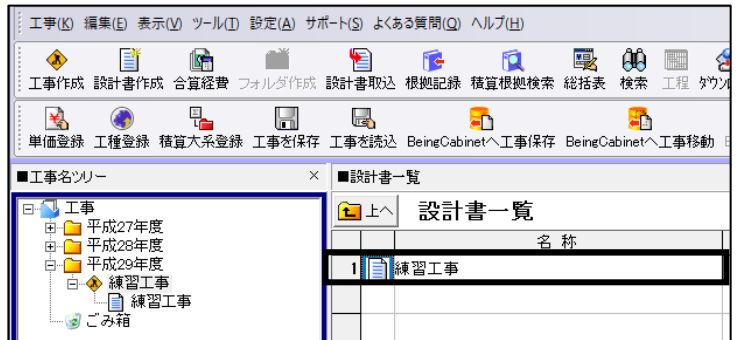
❖ ここでは一つの設計書で合算する方法を説明します。

1. 設計書を作成する

「工事名表」画面にて、合算経費計算を行う設計書を作成します。
(通常の設計書作成の手順と同じです)

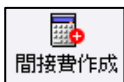
ここでは、この設計書に
「本工事」
「付帯工事1」
の直接工事費を一度に積上げ、
経費を合算する手順を説明します。

(その後、「付帯工事2」を積上げ、
追加発注計算を行います)

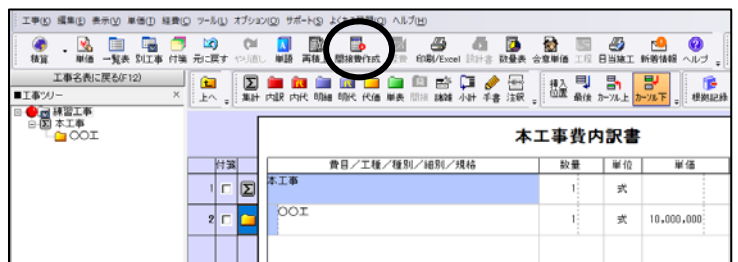


2. 「本工事」を積上げ、間接費を作成する

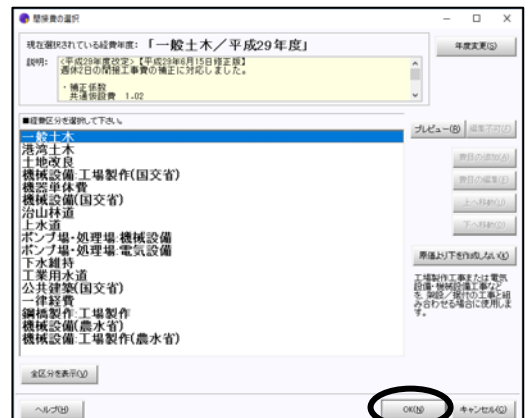
「本工事」の直接工事費の積上を行います。
積上後、カーソルを一番下の行に合わせて、



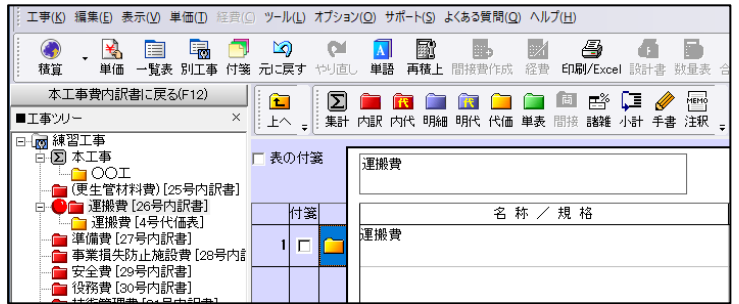
をクリックします。



作成する間接費の区分を選択し、
[OK] をクリックします。

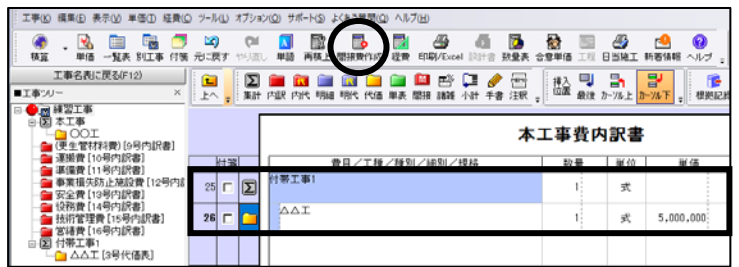


本工事費内訳書に戻ります。
「本工事」の間接費積上げ分を、
間接費内訳書内に積上げます。



3. 「付帯工事1」を積上げ、間接費を作成する

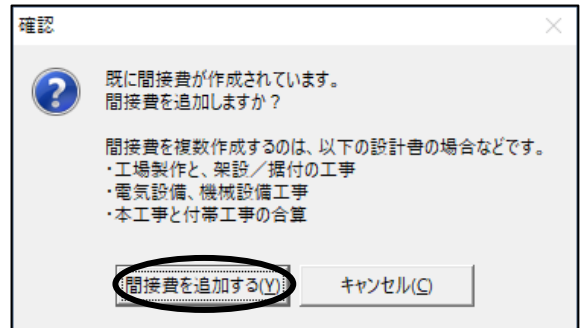
作成された間接費の下に、
「付帯工事1」の直接工事費の
積上を行います。
積上後、カーソルを一番下の行に
合わせて、 をクリックします。



作成された間接費項目の下に
付帯工事1を積上げるには、
挿入位置を「最後」にして行
を作成します。

2つ目の間接費を作成する場合、
確認画面が表示されます。

をクリックします。



「間接費の選択」画面で、「本工事」で作成した
間接費と同じ区分を選択します。

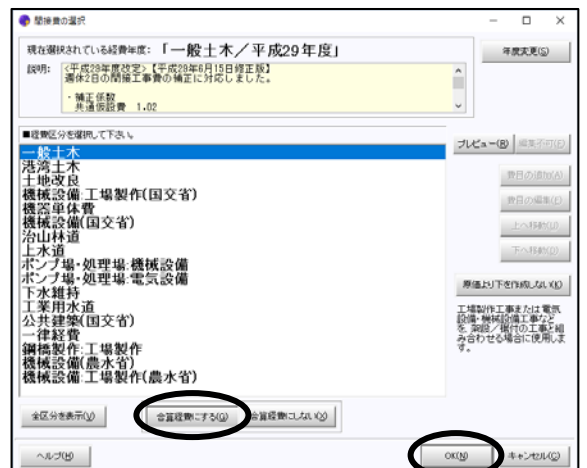
画面下の [合算経費にする] を選択します。



[OK] をクリックします。



[合算経費にしない] を選択すると、消費税、
工事費計等を複数作成できないことを示す情
報メッセージが表示されます。[OK] をクリ
ックし、[合算経費にする] を選択して下さ
い。



本工事費内訳書に戻ります。

「付帯工事1」の間接費積上げ分を
間接費内訳書内に積上げます。

更に同時に合算する工事が存在する場合は、同様に直接工事費の積上を行い、更に間接費を作成します。

なお、その場合、「間接費の選択」画面で、[合算経費にする]は押せなくなっています。
(追加した間接費は自動的に合算経費になります)



ここでは、「本工事」と「付帯工事1」で合算経費計算を行います。

4. 合算経費計算を行う



をクリックします。

「再積上げの処理選択」画面が表示されます。
設定を確認し、[OK]をクリックします。

再積上げの処理選択

計算を始める前に、再積上げが必要です。
再積上げの設定を確認して下さい。

再積上げの処理選択

- 単価金額を更新(U)
- 元登録単価<一般単価>の更新(O)
- 元登録単価<労務、損料>の更新(E)
- 総括表で設定されている地区に更新(A)
- 更新する単価を一覧で表示・選択(H)
- 数量の掛け率を更新(P)
- 単価の掛け率を更新(Q)
- 丸め設定を更新(M)
- 金額を手入力した表も丸めの更新を行う(N)
- 間接費積上げ費目も丸めの更新を行う(D)
- 再積上げの度に設定を確認する(K)
- 番号号振り直しを行う(※)(G)

※の設定は保存されません。

①経費条件を選択します。

変更したい条件欄をダブルクリックするか、[Enter] キーを押して、各々の設計書の経費条件を選択します。

②設定ができましたら、
[合算経費計算を行う] をクリックします。



左端の「合算経費全体」の条件（※1）を変更すると各設計書の条件（※2）も連動します。
各設計書ごとに、個別に設定することもできます。



● 現場管理費の冬期補正率計算

日付を設定して [計算する] をクリックすると、工期と冬期から冬期補正率を算出します。（該当期間でなければ「補正しない」になります。

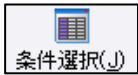
現場管理費の冬期補正率計算

日付を設定して [計算する] と、工期と冬期から冬期補正率を算出します。
（該当期間でなければ「補正しない」になります）
※個別に変更するには各工事のセルで変更して下さい。

当初発注 ~

合算経費計算結果が表示されます。

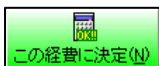
経費条件は



で選択し直す

ことができます。

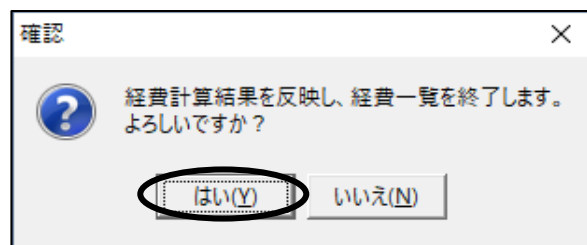
5. 合算経費計算を反映する



をクリックします。

No.	間接費科目	合算経費金額		本工事		付帯工事1	
	追加备注	率	金額	率	金額	率	金額
1	*直接工事費**		15,000,000	1円9角	10,000,000	5,000,000	1円9角
2	(更生管材料費)			丸のしない			丸のしない
3	運搬費		80,000	丸のしない	50,000	30,000	丸のしない
4	管理費			丸のしない			丸のしない
5	事業損失防止施設費			丸のしない			丸のしない
6	安全費			丸のしない			丸のしない
7	役務費			丸のしない			丸のしない
8	技術管理費			丸のしない			丸のしない
9	管理費			丸のしない			丸のしない
10	共通設備費率分	11.71%	1,756,000	1円0角9分	1,171,000	585,000	1円0角9分
11	*共通設備費率分**		1,836,000	1円9角	1,221,000	615,000	1円9角
12	*純工事費**		16,836,000	丸のしない	11,221,000	5,615,000	丸のしない
13	現場管理費	31.14%	5,242,000	1円0角9分	3,484,000	1,748,000	1円0角9分
14	機材管理費			丸のしない			丸のしない
15	技術者管理費			1円9角			1円9角
16	機材管理費			1円9角			1円9角
17	*工事単価**		22,078,000	丸のしない	14,715,000	7,363,000	丸のしない
18	*管理費率分	17.30%	3,818,000	1円9角	2,545,000	1,273,000	1円9角
19	総管理費計		3,818,000	丸のしない	2,545,000	1,273,000	丸のしない
20	*工事単価**		25,896,000	1円9角	17,260,000	8,636,000	1円9角
21	*消費税相当額**	8%	2,071,680	1円9角	1,380,800	690,880	1円9角
22	*工事費計**		27,967,680	丸のしない	18,640,800	9,326,880	丸のしない

確認画面で「はい」をクリックします。



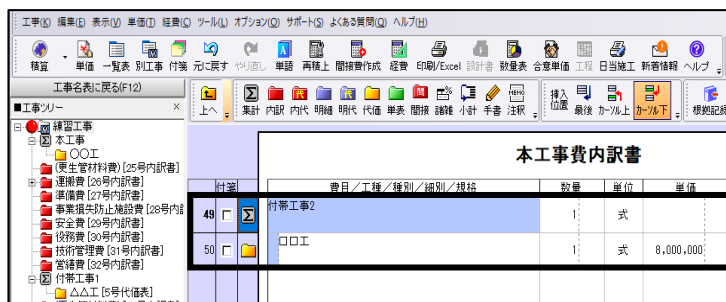
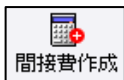
本工事費内訳書の各工事にそれぞれ計算結果が反映されます。

工種	科目/工種/種別/建別/規格	数量	単価	金額	積算	備考
本工事						
〇〇工		1	式	10,000,000	10,000,000	日付
*直接工事費**		1	式	10,000,000	10,000,000	
(更生管材料費)		1	式			29号内訳書
運搬費		1	式	50,000	50,000	29号内訳書
管理費		1	式			27号内訳書
事業損失防止施設費		1	式			29号内訳書
安全費		1	式			29号内訳書
役務費		1	式			29号内訳書
技術管理費		1	式			30号内訳書
管理費		1	式			31号内訳書
共通設備費率分		1	式			32号内訳書
*共通設備費率分**		1	式	1,171,000		
*純工事費**		1	式	1,221,000		
*純工事費**		1	式	11,221,000		
現場管理費		1	式	3,484,000		
機材管理費		1	式			
技術者管理費		1	式			
機材管理費		1	式			

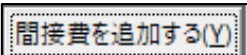
引き続き、工事を追加して追加発注計算を行う手順を説明します。
 なお、最初から追加発注分の工事も作成しておいて、合算経費を開始してから次の手順で追加発注工事を選択する、という操作を行うことも可能です。

6. 「付帯工事2」(追加発注工事)の直接工事費を積上げ、間接費を作成する

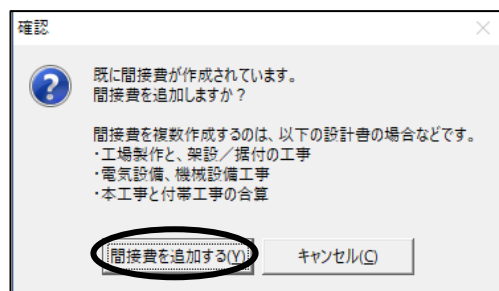
「付帯工事1」と同様に、
「付帯工事2」の積上を行います。
積上後、カーソル位置を一番下に合わせ、
をクリックします。



「既に間接費が作成されています。
間接費を追加しますか?」の確認画面が表示されます。



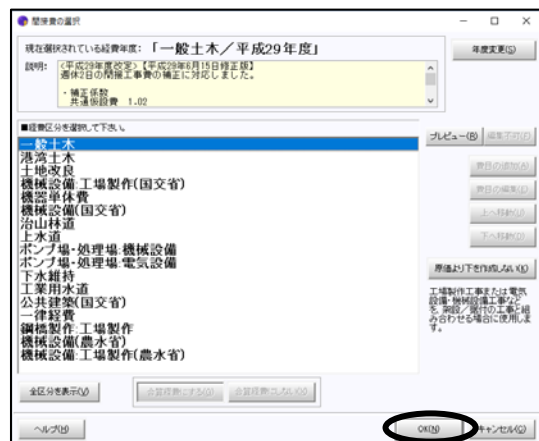
をクリックします。



一度「合算経費にする」を押されていると、
次からこのボタンは押せなくなります。
(追加した間接費は自動的に合算経費になります)



経費区分を選択し、[OK] をクリックします。



本工事費内訳書に戻ります。
「付帯工事2」の間接費積上げ分を間接費内訳書内に積上げます。

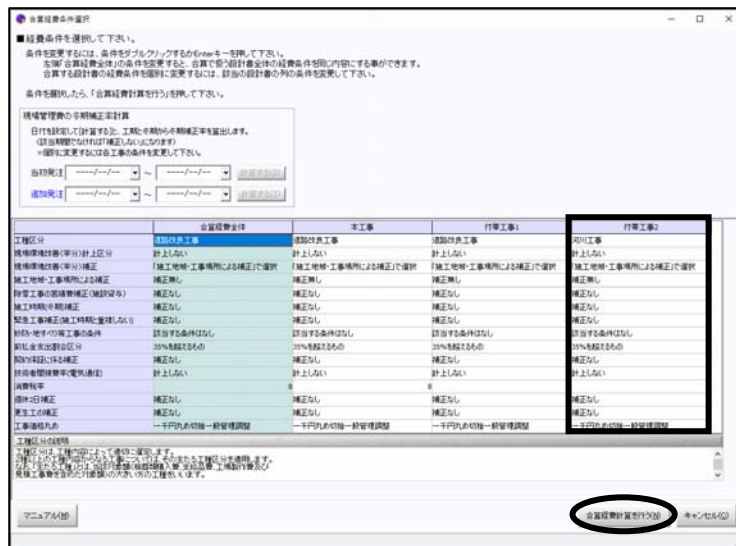


をクリックすると、

「再積上げの処理選択」画面が表示されます。

設定を確認後、[OK] をクリック
して、合算経費画面へ移動します。

「付帯工事2」の条件を選択し、
「合算経費計算を行う」を
クリックします。



7. 追加発注工事を選択する

追加発注にする工事の「追加発注」にチェックを付けます。

No	間接費費目	合算経費金額			追加発注計算用金額			本工事		付帯工事1		付帯工事2	
	結果を保持							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	追加発注							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
		率	金額	丸め	率	金額		率	金額	率	金額	率	金額

追加発注工事を全てチェックしたら、



をクリックします。

チェックしなかったものは既発注工事として計算し、
チェックしたものは追加発注工事として計算されます。

経費一覧：講習工事

経費計算の新規作成(C) 経費計算の削除(D) 経費計算名称の変更(E) 経費計算結果の比較(F) ヘルプ(H) 閉じる(O)

経費区分名: 一般土木 / 年度名: 平成29年度

この経費に決定して反映して下さい。

工事価格: 39,006,000円

No	間接費費目	合算経費金額			追加発注計算用金額			本工事		付帯工事1		付帯工事2		
	結果を保持							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	追加発注							<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		率	金額	丸め	率	金額		率	金額	率	金額	率	金額	
1	**直接工事費**		29,000,000	1円丸め 切り捨て		8,000,000			10,000,000		5,000,000		8,000,000	
2	(更生管材料費)			丸めしない										
3	運搬費		100,000	丸めしない					50,000		30,000		20,000	
4	準備費			丸めしない										
5	事業損失防止施設費			丸めしない										
6	安全費			丸めしない										
7	設備費			丸めしない										
8	技術管理費			丸めしない										
9	管理費			丸めしない										
10	イメージアップ経費(率計)			1000円丸め 切り捨て										
11	共通施設費率分	11.24%	2,595,000	1000円丸め 切り捨て		829,000		11.71%	1,171,000		11.71%	595,000	829,000	
12	**共通施設費計**		2,695,000	1円丸め 切り捨て					1,221,000		815,000		849,000	
13	**純工事費**		25,895,000	丸めしない					11,221,000		5,615,000		9,849,000	
14	現場管理費	30.41%	7,910,000	1000円丸め 切り捨て		2,599,000		31.14%	3,494,000		31.14%	1,749,000	2,599,000	
15	機器間接費			丸めしない										
16	技術者間接費			1円丸め 切り捨て										
17	機器管理費			1円丸め 切り捨て										
18	**工事原価**		33,485,000	丸めしない					14,715,000		7,963,000		11,417,000	
19	一般管理費率分	16.46%	5,511,000	1円丸め 切り捨て		1,689,768		17.30%	2,545,000		17.30%	1,278,000	1,689,000	
20	契約保証費			1円丸め 切り捨て										
21	一般管理費計		5,511,000	丸めしない					2,545,000		1,278,000		1,689,000	
22	**工事価格**		39,006,000	1円丸め 切り捨て					17,260,000		8,636,000		13,110,000	
23	**消費税相当額**	8%	3,120,400	1円丸め 切り捨て				8%	1,360,800		8%	690,500	8%	1,040,800
24	**工事費計**		42,126,400	丸めしない					18,640,800		9,326,500		14,150,800	

追加発注計算が行われる際は、「追加発注計算用金額」列が表示されます。

「追加発注」にチェックを付けた工事の率は表示されません。

追加発注の金額は、追加発注工事が複数存在する場合は、各工事の金額によって、追加発注計算用金額を按分した結果となります。

● 「結果を保持」チェックについて

No	間接費費目 結果を保持 追加発注	合算経費金額			本工事		付帯工事1		付帯工事2	
		率	金額	丸め	率	金額	率	金額	率	金額
					<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「結果を保持」のチェックを付けた対象工事は、「再計算」を行っても計算されません。金額の訂正などの編集はできなくなります。

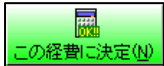
新たに追加発注工事を追加して計算するとき、現在の合算経費計算結果はそのままで追加分だけで計算する、等の場合は既に計算されている各対象工事に「結果を保持」のチェックを付けて下さい。

工事1（既発注）
工事2（追加発注）として計算済みの状態に、
工事3を追加する場合、

工事2と工事3を同時に追加したものととして計算する場合は、
「結果を保持」は必要ありません。

工事1と工事2の計算で一旦完了し、改めて工事3を追加する場合は、
工事1と工事2の「結果を保持」にしておきます。
そのうち工事3を合算経費に追加し、追加発注にします。
→工事3だけが追加発注計算されます。

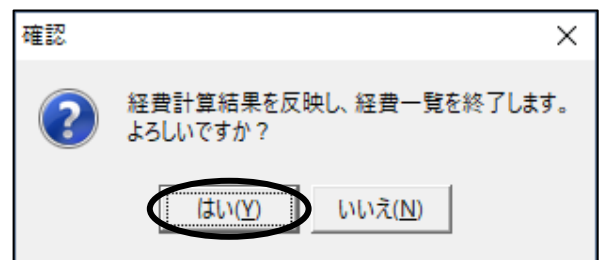
8. 合算経費計算を反映する



をクリックします。

No	間接費費目	合算経費金額	追加発注計算結果	本工事	付帯工事1	付帯工事2			
結果を保持	追加発注	率	金額	率	金額	率	金額		
1	※追加工事費**		23,000,000	1円/丸	切替		丸	なし	
2	(※主資材料率)		丸	なし				丸	なし
3	運賃費		100,000	丸	なし			丸	なし
4	運賃費		丸	なし				丸	なし
5	事業費率防止増設費		丸	なし				丸	なし
6	税金		丸	なし				丸	なし
7	労務費		丸	なし				丸	なし
8	労務管理費		丸	なし				丸	なし
9	労務費		丸	なし				丸	なし
10	メソッドアップ経費 (設計)		1000円/丸	切替				丸	なし
11	※共通設計費**	11.24%	2,585,000	1000円/丸	切替			丸	なし
12	※共通設計費**		2,585,000	1000円/丸	切替			丸	なし
13	※共通設計費**		2,585,000	1000円/丸	切替			丸	なし
14	※共通設計費**	30.43%	7,010,000	1000円/丸	切替			丸	なし
15	輸送管理費		丸	なし				丸	なし
16	輸送管理費		丸	なし				丸	なし
17	輸送管理費		丸	なし				丸	なし
18	※工事準備金**		33,485,000	丸	なし			丸	なし
19	輸送管理費		丸	なし				丸	なし
20	輸送管理費	16.46%	5,217,000	1000円/丸	切替			丸	なし
21	設計管理費		丸	なし				丸	なし
22	設計管理費		丸	なし				丸	なし
23	※工事準備金**		39,000,000	1000円/丸	切替			丸	なし
24	※工事準備金**		3,120,000	1000円/丸	切替			丸	なし
25	※工事準備金**		42,120,000	丸	なし			丸	なし

確認画面で「はい」をクリックします。



本工事費内訳書の各工事に
それぞれ計算結果が反映
されます。

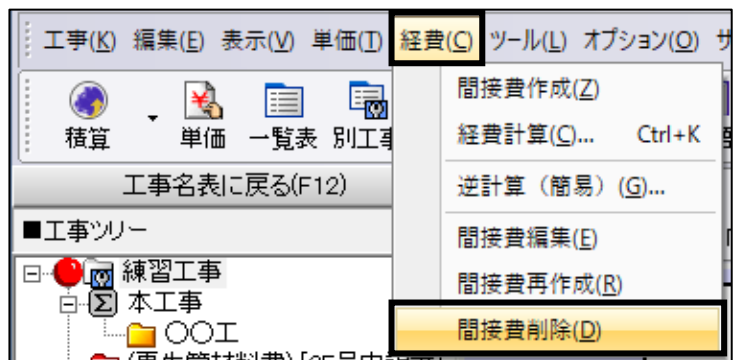
工種	費目/工種/種別/種別	数量	単位	金額	種別	備考
〇〇工		1	式	10,000,000	費目行	
	* 高層工事費 *	1	式	10,000,000		
	(再生管材料費)	1	式			25号内訳書
	運搬費	1	式	50,000		26号内訳書
	基礎費	1	式			27号内訳書
	事業場内止地設備	1	式			28号内訳書
	安全費	1	式			29号内訳書
	設備費	1	式			30号内訳書
	技術管理費	1	式			31号内訳書
	監理費	1	式			32号内訳書
	共通経費率分	1	式	1,171,000		
	* 共通経費率分 *	1	式	1,221,000		
	* 総工事費 *	1	式	11,221,000		
	現場管理費	1	式	3,484,000		
	解除設備費	1	式			
	技術者管理費	1	式			
	解除管理費	1	式			

ここまでで追加発注の合算経費の手順は完了です。

9. 合算する設計書を削除する

合算経費の対象工事を、合算対象から外す手順を説明します。

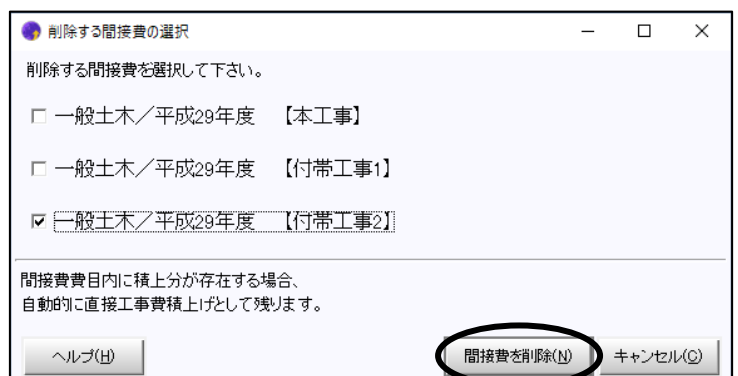
「本工事費内訳書」画面にて、
「経費」メニューの
「間接費削除」をクリックします。



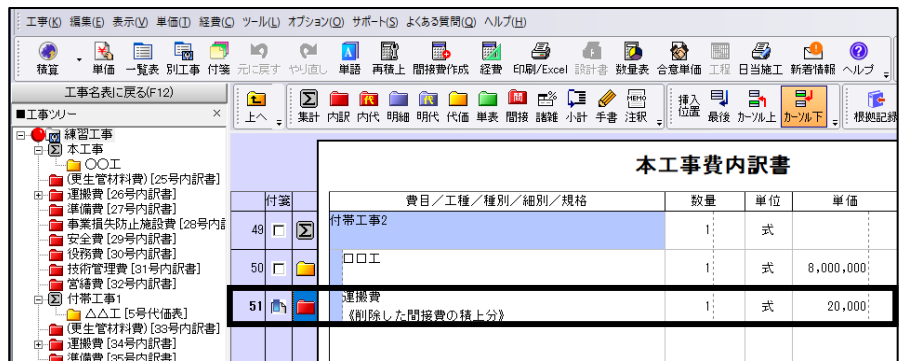
削除する間接費を選択します。
本工事費内訳書に作成されている
順に表示されます。

間接費を削除(N)

をクリックします。



間接費が削除されます。
 (間接費内訳書内に積上げがある場合、その内訳書は残ります)

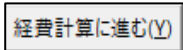
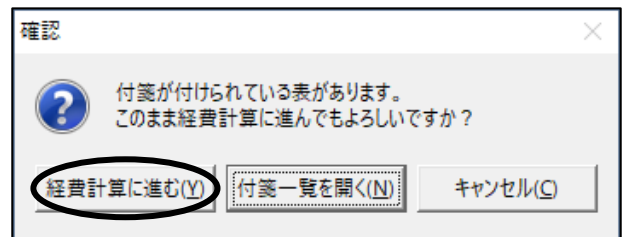


合算経費計算が行われている場合、経費再計算が必要となります。
 「付帯工事2」の積上分を削除するか、新たに間接費を作るなどして、



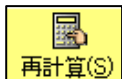
をクリックします。

「付箋がつけられている表があります。このまま経費計算に進んでもよろしいですか?」の確認画面が表示されます。



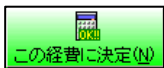
をクリックします。

本工事費内訳書の内容が変更された場合、



が黄色く点滅しています。再計算ボタンをクリックすると本工事費内訳書の内容を読み込み、再計算が行われます。



再計算後、 をクリックします。

本工事費内訳書の各工事に、それぞれ計算結果が反映されます。



●処分費控除額の算定方法

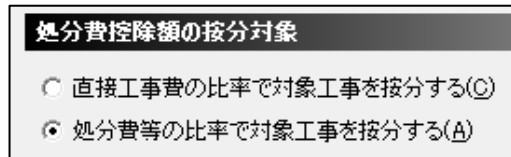
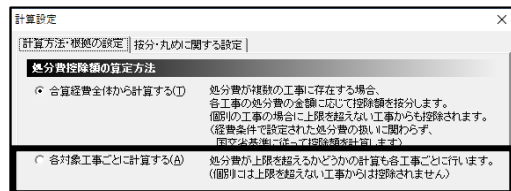
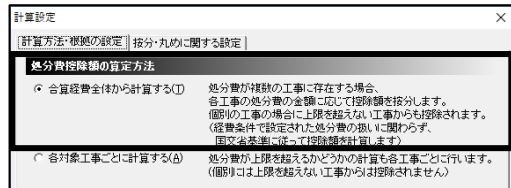
処分費による控除額をどのように計算するかを選択します。

合算経費全体から計算する場合、対象工事全ての処分費金額を元に控除額を算出します。処分費による控除が発生する場合、工事全体の控除額を、処分費を含む全ての対象工事に按分します。

(個別には処分費が上限を超えない場合にも控除されます。処分費を含まない工事からは控除されません。控除額は、対象工事の処分費の金額に応じて(※)按分されます)

各対象工事ごとに計算する場合、個別には上限を超えない工事からは控除されません。

※按分する対象は、処分費あるいは直接工事費を選択することができます。
「直接工事費」を選択した場合、各対象工事の直接工事費の金額で按分されます。

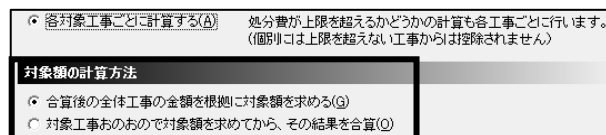


●対象額の計算方法

率計算の根拠となる対象額の算定方法を選択します。

合算後の全体工事の金額を根拠として対象額を求めるか、対象工事おののおで対象額を求めてから結果を合計したものを対象額とするかを選択します。

※処分費控除額の算定方法で、「各対象工事ごとに計算する」をチェックした場合のみ、選択できます。



● 計算方法と調整

< 合算経費全体の金額 >

合算経費全体の金額（「合算経費金額」列の値）の表示の設定です。

全体の計算結果の縦の計算を合わせるか、必要に応じて対象額の結果を合計する表示にするかを選択することができます。

- ・「対象工事の計算結果を合計しない」を選択した場合

No	間接費費目	合算経費金額			
	結果を保持				
	追加発注				
		率	金額	丸め	率
1	* * 直接工事費 * *		15,000,000	1円丸め 切り捨て	
2	(更生管材料費)			丸めしない	
3	運搬費		80,000	丸めしない	
4	準備費			丸めしない	
5	事業損失防止施設費			丸めしない	
6	安全費			丸めしない	
7	役員費			丸めしない	
8	技術管理費			丸めしない	
9	営繕費			丸めしない	
10	イメージアップ経費(率計)		1,000,000	1円丸め 切り捨て	
11	共通仮設費率分	11.71%	1,756,000	1,000円丸め 切り捨て	11.71%
12	* * 共通仮設費計 * *		1,836,000	1円丸め 切り捨て	
13	* * 純工事費 * *		18,836,000	丸めしない	
14	現場管理費	31.14%	5,242,000	1,000円丸め 切り捨て	31.14%
15	機器間接費			丸めしない	
16	技術者間接費			1円丸め 切り捨て	
17	機器管理費			1円丸め 切り捨て	
18	* * 工事原価 * *		22,078,000	丸めしない	
19	一般管理費率分	17.30%	3,819,000	1円丸め 切り捨て	17.30%
20	契約保証費		2,071,760	1円丸め 切り捨て	
21	一般管理費計		3,819,000	丸めしない	
22	* * 工事価格 * *		25,897,000	1円丸め 切り捨て	
23	* * 消費税相当額 * *	8%	2,071,760	1円丸め 切り捨て	8%
24	* * 工事費計 * *		27,968,760	丸めしない	

計算設定

計算方法・根拠の設定 | 按分・丸めに関する設定 |

処分費控除額の算定方法

合算経費全体から計算する(D) 処分費が複数の工事に存在する場合、各工事の処分費の金額に応じて控除額を按分します。個別の工事の場合に上限を超える工事からも控除されます。(経費条件で設定された処分費の扱いに関わらず、国交省基準に従って控除額を計算します)

各対象工事ごとに計算する(A) 処分費が上限を超えるかどうかの計算も各工事ごとに行います。(個別に上限を超える工事からは控除されません)

対象額の計算方法

合算後の全体工事の金額を根拠に対象額を求める(B)

対象工事のおのりで対象額を求めてから、その結果を合算(C)

計算方法と調整

合算経費全体の金額

対象工事の計算結果を合計しない(N) 全体の計算結果を全体として計算します。(調整するために対象工事の金額を合計する処理を行いません)

対象工事の計算結果を合計する(Y) 各対象工事の計算結果を全体に合計します。(対象工事ごとに丸めた後で合計されるため、全体の金額が低くなる場合があります)

「合算経費金額」列の金額は、合算経費全体を一つの計算結果として算出した結果となります。(合算経費金額は、本工事+付帯工事1の合計にはなりません)

- ・「対象工事の計算結果を合計する」を選択した場合

No	間接費費目	合算経費金額			
	結果を保持				
	追加発注				
		率	金額	丸め	率
1	* * 直接工事費 * *		15,000,000	1円丸め 切り捨て	
2	(更生管材料費)			丸めしない	
3	運搬費		80,000	丸めしない	
4	準備費			丸めしない	
5	事業損失防止施設費			丸めしない	
6	安全費			丸めしない	
7	役員費			丸めしない	
8	技術管理費			丸めしない	
9	営繕費			丸めしない	
10	イメージアップ経費(率計)		1,000,000	1円丸め 切り捨て	
11	共通仮設費率分	11.71%	1,756,000	1,000円丸め 切り捨て	11.71%
12	* * 共通仮設費計 * *		1,836,000	1円丸め 切り捨て	

計算設定

計算方法・根拠の設定 | 按分・丸めに関する設定 |

処分費控除額の算定方法

合算経費全体から計算する(D) 処分費が複数の工事に存在する場合、各工事の処分費の金額に応じて控除額を按分します。個別の工事の場合に上限を超える工事からも控除されます。(経費条件で設定された処分費の扱いに関わらず、国交省基準に従って控除額を計算します)

各対象工事ごとに計算する(A) 処分費が上限を超えるかどうかの計算も各工事ごとに行います。(個別に上限を超える工事からは控除されません)

対象額の計算方法

合算後の全体工事の金額を根拠に対象額を求める(B)

対象工事のおのりで対象額を求めてから、その結果を合算(C)

計算方法と調整

合算経費全体の金額

対象工事の計算結果を合計しない(N) 全体の計算結果を全体として計算します。(調整するために対象工事の金額を合計する処理を行いません)

対象工事の計算結果を合計する(Y) 各対象工事の計算結果を全体に合計します。(対象工事ごとに丸めた後で合計されるため、全体の金額が低くなる場合があります)

合算経費金額は、対象工事の金額を合計した値となります(※↑は一例。全て合計されます)

※この設定は、
「処分費控除額の算定方法」が、
「各対象工事ごとに計算する」場合は
設定できません。
(「対象工事の計算結果を合計する」
設定として計算されます)

計算設定

計算方法・根拠の設定 | 按分・丸めに関する設定 |

処分費控除額の算定方法

合算経費全体から計算する(D)

各対象工事ごとに計算する(A)

対象額の計算方法

合算後の全体工事の金額を根拠に対象額を求める(G)

対象工事おのおのに対象額を求めてから、その結果を合算(Q)

計算方法と調整

合算経費全体の金額

対象工事の計算結果を合計しない(N)

対象工事の計算結果を合計する(O)

処分費が複数の工事に存在する場合、各工事の処分費の金額に応じて控除額を按分します。個別の工事の場合に上限を超える工事からも控除されます。(経費条件で設定された処分費の扱いに関わらず、国交省基準に従って控除額を計算します)

処分費が上限を超えるかどうかの計算も各工事ごとに行います。(個別に上限を超える工事から対象されません)

全体の計算結果は全体として計算します。(調整するために対象工事の金額を合計する処理をしません)

各対象工事の計算結果を全体に合計します。(対象工事ごと丸めた後で合計されるため、全体の金額が低くなる場合があります)

<端数の調整方法>

全体の金額と対象工事の合計に差が生じる場合があります。

それぞれで丸めているため、
全体と 1000 円差が出ます。

計算設定

計算方法・根拠の設定 | 按分・丸めに関する設定

処分費控除額の算定方法

合算経費全体から計算する(D) 処分費が複数の工事に存在する場合、各工事の処分費の合算・平均の控除額を控除します。

計算方法と調整

合算経費全体の金額

対象工事の計算結果を合計しない(N) 全体の計算結果は全体として計算します。(調整するために対象工事の金額を合計する処理を行いません)

対象工事の計算結果を合計する(Y) 各対象工事の計算結果を全体に合計します。(対象工事ごとに丸めた後で合計されるため、全体の金額が低くなる場合があります)

端数の調整方法

右端の設計書で調整する(R) 丸めや按分等により発生した端数を調整する設計書を選択します。

左端の設計書で調整する(L)

調整しない(C)

[合算経費全体の率計算の金額]を、「対象工事の計算結果を合計しない」場合は、端数の調整は全体工事では行われません。

No	間接費費目 結果を保持 追加発注	合算経費金額			本工事			付帯工事1		
		率	金額	丸め	率	金額	率	金額	丸め	
11	共通仮設費率分	11.71%	1,758,000	1000円丸め 切り捨て	11.71%	1,171,000	11.71%	585,000	1000円丸め 切り捨て	
12	**共通仮設費計**		1,836,000	1円丸め 切り捨て		1,221,000		615,000	1円丸め 切り捨て	
13	**純工事費**		16,836,000	丸めしない		11,221,000		5,615,000	丸めしない	
14	現場管理費	31.14%	5,242,000	1000円丸め 切り捨て	31.14%	3,494,000	31.14%	1,748,000	1000円丸め 切り捨て	

計算によって生じた端数をどのように調整するかを選択することができます。

- ・対象工事の計算結果を合計する
→ 対象額の金額を、
全体工事に合計します

計算方法と調整

合算経費全体の金額

対象工事の計算結果を合計しない(N) 全体の計算結果は全体として計算します。(調整するために対象工事の金額を合計する処理を行いません)

対象工事の計算結果を合計する(Y) 各対象工事の計算結果を全体に合計します。(対象工事ごとに丸めた後で合計されるため、全体の金額が低くなる場合があります)

No	間接費費目 結果を保持 追加発注	合算経費金額			本工事			付帯工事1		
		率	金額	丸め	率	金額	率	金額	丸め	
11	共通仮設費率分	11.71%	1,758,000	1000円丸め 切り捨て	11.71%	1,171,000	11.71%	585,000	1000円丸め 切り捨て	
12	**共通仮設費計**		1,836,000	1円丸め 切り捨て		1,221,000		615,000	1円丸め 切り捨て	
13	**純工事費**		16,836,000	丸めしない		11,221,000		5,615,000	丸めしない	
14	現場管理費	31.14%	5,242,000	1000円丸め 切り捨て	31.14%	3,494,000	31.14%	1,748,000	1000円丸め 切り捨て	

- ・対象工事の計算結果を合計しない
かつ「右端の設計書で調整する」を
選択した場合
→ 生じた端数を
右端の工事で調整します。

端数の調整方法

右端の設計書で調整する(R) 丸めや按分等により発生した端数を調整する設計書を選択します。

左端の設計書で調整する(L)

調整しない(C)

[合算経費全体の率計算の金額]を、「対象工事の計算結果を合計しない」場合は、端数の調整は全体工事では行われません。

No	間接費費目 結果を保持 追加発注	合算経費金額			本工事			付帯工事1		
		率	金額	丸め	率	金額	率	金額	丸め	
11	共通仮設費率分	11.71%	1,758,000	000円丸め 切り捨て	11.71%	1,171,000	11.71%	585,000	000円丸め 切り捨て	
12	**共通仮設費計**		1,836,000	1円丸め 切り捨て		1,221,000		615,000	1円丸め 切り捨て	
13	**純工事費**		16,836,000	丸めしない		11,221,000		5,615,000	丸めしない	
14	現場管理費	31.14%	5,242,000	1000円丸め 切り捨て	31.14%	3,494,000	31.14%	1,748,000	000円丸め 切り捨て	

●計算時の丸め設定

処分費による控除額や、追加発注時の率計算金額など、対象工事の金額に応じて按分される場合の按分比率の丸めや、按分後の金額の丸めを設定します。

按分比率の丸めは、比率自体の丸めです。

例えば、対象工事の金額によって、2/3 と

1/3 に按分される場合、比率は、

66.66666・・・% : 33.33333・・・%

となります。

按分比率の丸めを「小数第4位四捨五入」と

した場合、

66.667% : 33.333%となります。

ヒント

合算経費計算中では、比率は小数で扱われますので、66.667% → 0.66667で計算されます。

按分される金額が、10,000円ならば、 $10,000 \times 0.66667 = 6,666.7$ 円となります。

按分後の金額の丸めは、按分によって算出された金額の丸め方法です。

「1円未満切捨て、1円未満四捨五入、1円未満切上げ、丸めしない」を選べます。

例えば、6,666.7円を1円未満四捨五入した場合、6,667円となります。

●按分計算の誤差調整

「処分費控除額は処分費が一番大きい設計書で調整」にチェックを付けると、処分費による控除額のみ処分費金額が一番大きい設計書で調整されます。

※「右端の設計書で調整する」あるいは「左端の設計書で調整する」より、「処分費控除額は処分費が一番大きい設計書で調整」が優先されます。

●処分費控除額の按分対象

処分費控除額を計算する際、各対象工事の処分費の金額の比率に応じて按分するか、直接工事費の金額の比率に応じて按分するかを選択できます。

合算経費

合算経費を作成する（複数の設計書を合算）

合算経費設計書を作成し、合算経費計算を行います。

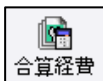
◆ 合算経費は一つの設計書で作成する方法と、複数の設計書を合算する方法があります。

◆ ここでは複数の設計書を合算する方法を説明します。

◆ 合算経費の対象となる工事はあらかじめ間接費を作成し、間接費の積上げ分を入力しておいて下さい。

1. 「合算経費の設定」画面を表示する

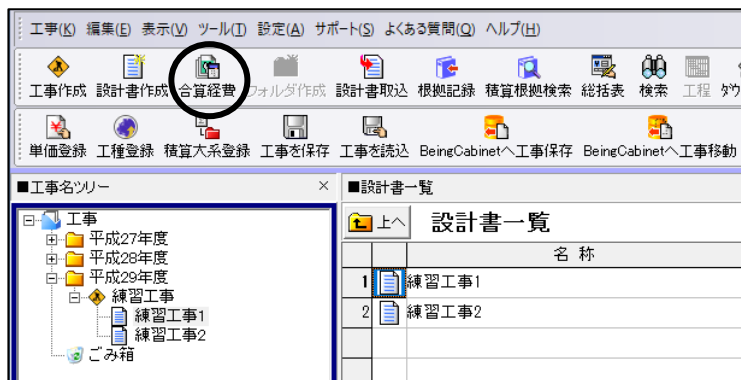
「工事名表」画面にて、ツールバーの



をクリックします。



メニューバーの [工事] -
[合算経費の作成] でも同様で
す。



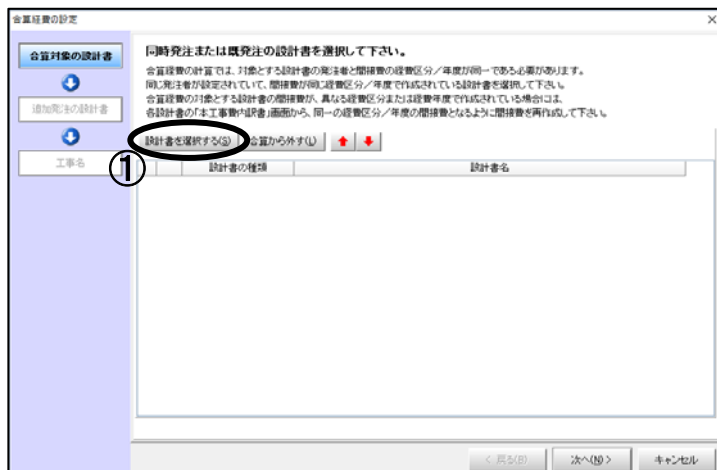
2. 「合算経費の設定」画面を編集する

「合算経費の設定」画面が表示されます。

左側のステップに沿って、合算経費の作成を行います。

「合算対象の設計書」ステップで、同時に入札する設計書もしくは随意契約の場合は設計書を設定します。

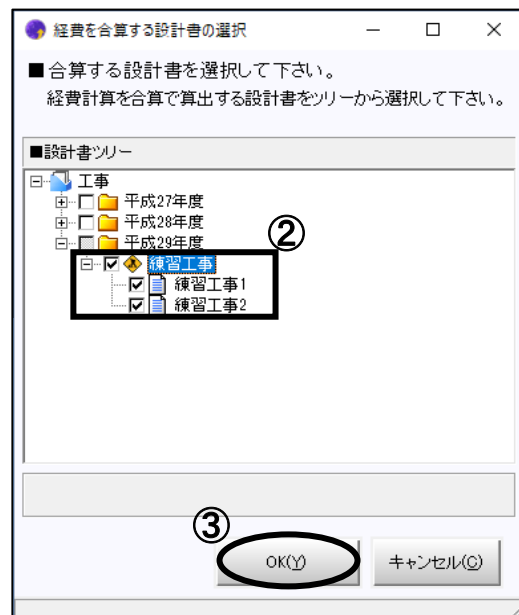
① **設計書を選択する(S)** をクリックします。



「経費を合算する設計書の選択」画面が表示されます。

② 「設計書ツリー」より、合算する設計書にチェックを付けます。

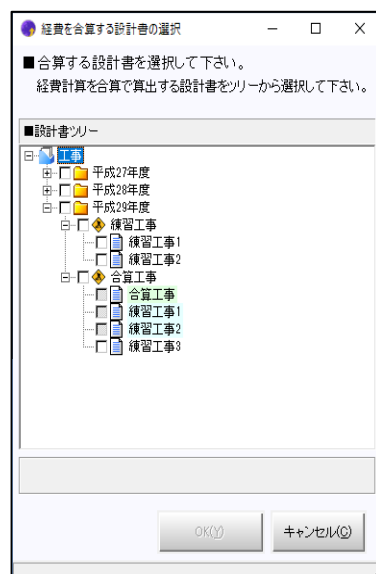
③ よろしければ、[OK] をクリックします。



●経費を合算する設計書の選択

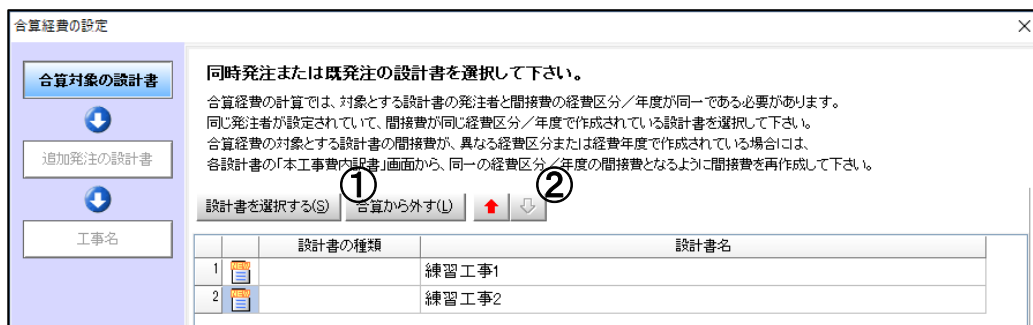
「経費を合算する設計書の選択」画面で選択できない設計書は以下の設計書です。

- ・ 間接費が作成されていない設計書
- ・ 複数の間接費が作成されている設計書
- ・ 経費区分、経費年度が異なる設計書
- ・ 発注者が異なる設計書
- ・ 既に他の合算経費の対象になっている設計書
- ・ GaiaRX以前の間接費が作成されている設計書
- ・ 参照・編集権限が無い設計書
- ・ 業務委託設計書







● 「合算から外す」・「設計書の並び替え」



合算経費の対象から外す場合は、外したい設計書の行を選択し、**合算から外す(L)** をクリックして下さい。(①)

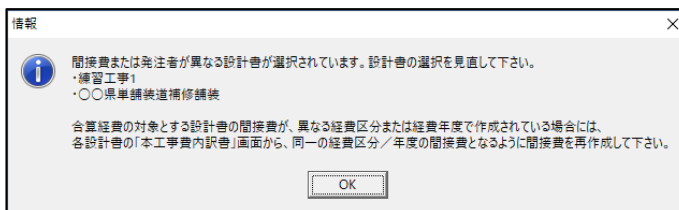
「合算経費の設定」画面に表示された設計書の並び順で「合算経費計算」画面に表示されます。必要があれば、 で合算する設計書の順序を変更して下さい。(②)



間接費の作成については、ツールバーの  をクリックし、ヘルプの「目次」タブー「積算を行う」－「積算」－「間接費／経費」－「間接費作成」をご参照下さい。



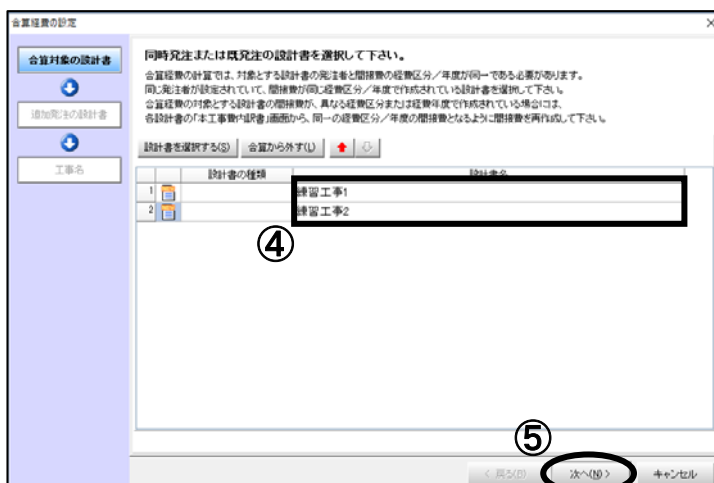
間接費または発注者が異なる設計書を選択すると、右図のメッセージが表示されます。



「経費を合算する設計書の選択」画面で選択した設計書が「合算経費の設定」画面に反映されます。

④ 「設計書名」を編集する場合は、ダブルクリックして変更します。

⑤ 合算する設計書の設定ができましたら、**[次へ]** をクリックします。

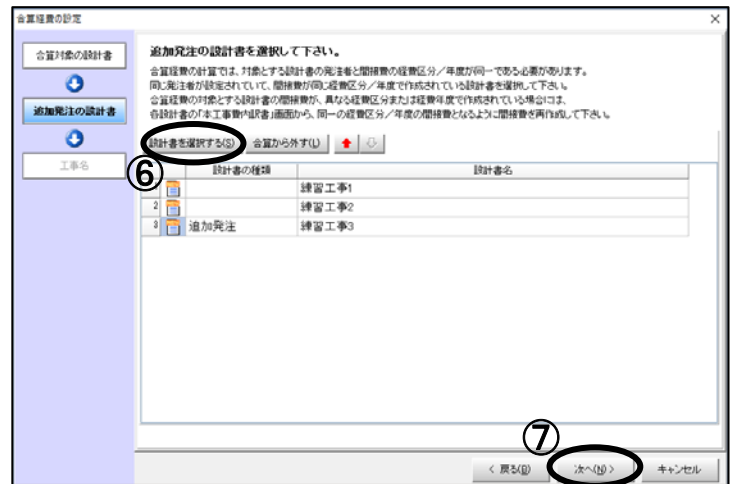


「追加発注の設計書」ステップが表示されます。

⑥追加発注の設計書で合算する設計書が

ある場合は、**設計書を選択する(S)** をクリックし、「経費を合算する設計書の選択」画面で、合算する設計書にチェックを付け、[OK] をクリックします。
追加発注の設計書がない場合、選択は不要です。

⑦ [次へ] をクリックします。

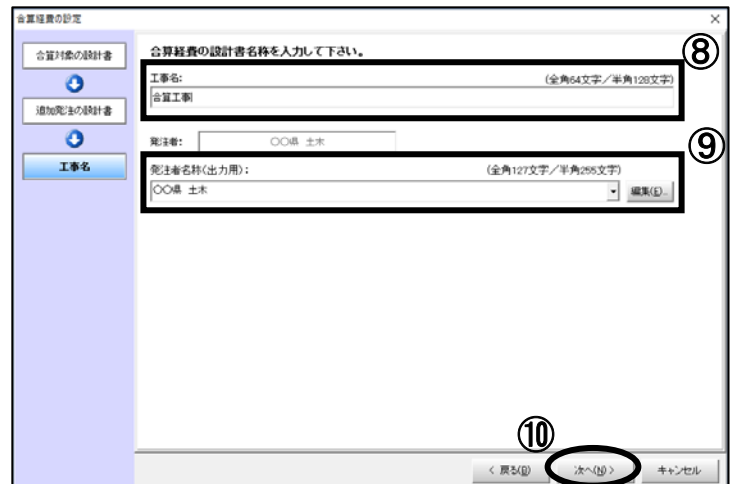


「工事名」ステップが表示されます。

⑧合算経費の設計書名称を入力します。

⑨必要でしたら、発注者名称（出力用）を編集します。

⑩ [次へ] をクリックします。





●発注者名称（出力用）の編集

「発注者名称（出力用）」欄で表示されている発注者名は、合算経費の総括表等、印刷・出力を行う場合に使用する発注者名です。初期値は、選択した工事の発注者が表示されますので、異なる発注者名を使用する場合は、編集を行って下さい。

- ①「発注者名称（出力用）」欄の右側の [編集] をクリックします。

「出力用発注者名称編集」画面が表示されます。

- ②画面左下の [追加] をクリックします。


「発注者名称の追加」画面が表示されます。

- ③追加したい発注者名称を入力して、[OK] をクリックします。

- ④「出力用発注者名称編集」画面に、入力した発注者名称（出力用）が追加されます。

よろしければ [保存して閉じる] をクリックします。

- ⑤「合算経費の設定」画面に戻ります。

「発注者名称（出力用）」欄、右側の  をクリックすると、追加した発注者名称（出力用）を選択することができます。

3. 合算経費計算を行う

「合算経費条件選択」画面が表示されます。

経費条件を選択します。

よろしければ、「合算経費計算を行う」をクリックします。



合算経費計算結果が表示されます。

合算経費計算結果画面の表示、計算、操作方法等については、「合算経費を作成する（1つの設計書内で合算）」を参照してください。

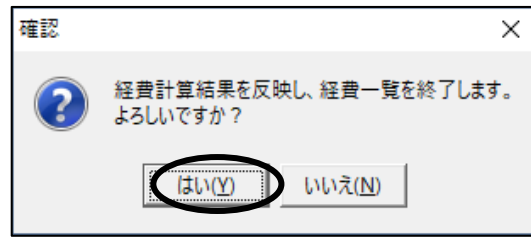
No.	経費項目	合算経費金額			通知税込計算用金額			経費工率1			経費工率2			経費工率3		
		年	金額	丸	年	金額	率	金額	率	金額	率	金額	率	金額	率	
1	* 経工事務費 *	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000		10,000,000		10,000,000		10,000,000		10,000,000		10,000,000	
2	(業主) 材料費															
3	運賃費	50,000	50,000	50,000	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000			
4	雑費															
5	事業場半日当り雑費															
6	安全費															
7	労務費															
8	経費管理費															
9	営業費															
10	イメージアップ経費 (累計)															
11	共通経費率分	10.35%	3,295,000	10,000,000	1,289,000	9.88%	998,000	9.88%	998,000	9.88%	998,000	9.88%	998,000	1,289,000		
12	* 共通経費率 *	3,485,000	10,000,000	3,485,000	1,048,000		1,048,000		1,048,000		1,048,000		1,048,000	1,589,000		
13	* 経工事務費 *	30,450,000	10,000,000	11,448,000	11,448,000		11,448,000		11,448,000		11,448,000		11,448,000	11,259,000		
14	経費管理費	29.35%	10,013,000	10,000,000	2,747,000	32.88%	3,493,000	32.88%	3,493,000	32.88%	3,493,000	32.88%	3,493,000	2,747,000		
15	解除経費															
16	経費管理費															
17	解除経費															
18	* 工事原価 *	47,448,000	10,000,000	14,881,000	14,881,000		14,881,000		14,881,000		14,881,000		14,881,000	14,881,000		
19	経費管理率分	15.83%	6,921,000	10,000,000	2,009,004	16.73%	2,456,000	16.73%	2,456,000	16.73%	2,456,000	16.73%	2,456,000	2,009,000		
20	総計経費															
21	総管理費															
22	* 工事原価 *	6,921,000	10,000,000	2,456,000	2,456,000		2,456,000		2,456,000		2,456,000		2,456,000	2,009,000		
23	* 工事原価 *	50,369,000	10,000,000	17,337,000	17,337,000		17,337,000		17,337,000		17,337,000		17,337,000	16,885,000		
24	* 工事費計 *	54,388,520	10,000,000	18,507,360	18,507,360		18,507,360		18,507,360		18,507,360		18,507,360	17,382,400		

4. 合算経費計算を反映する

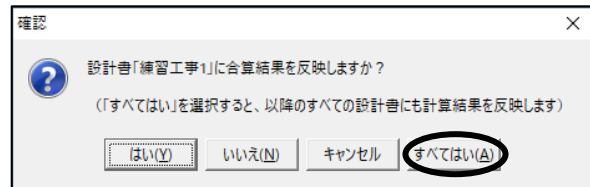


をクリックします。

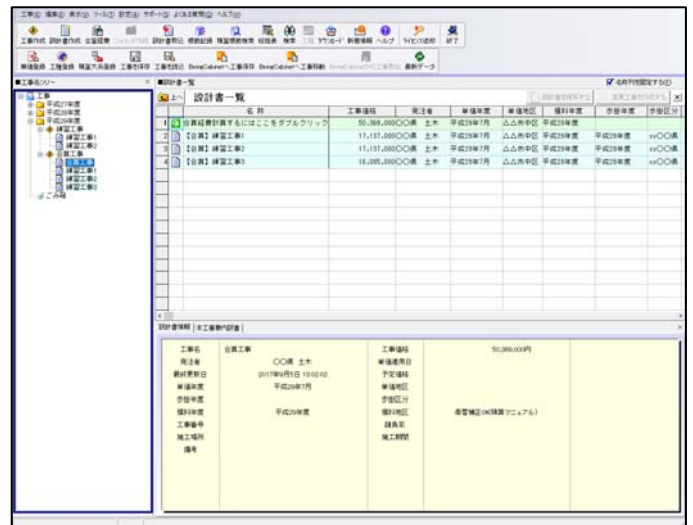
確認画面で「はい」をクリックします。



合算の対象にしている各工事に、
計算結果を反映するかの確認が
表示されます。
通常は「すべてはい」をクリックします。

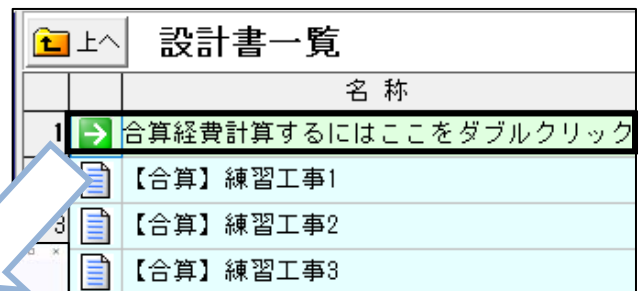


工事名表には、
合算経費計算を行う設計書と、
合算対象にした各工事が作成されています。



工事名表で「合算経費」は、薄緑色で表示されます。

合算経費計算を開くには、
「合算経費計算するにはここをダブルクリック」の
設計書をダブルクリックします。

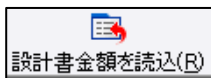


計算済みの結果が開きます。

No.	経費項目	合算経費金額	追加発注計算用金額	練習工事1	練習工事2	練習工事3
1	※ 産物工事	50,000,000	10,000,000	10,000,000	0,000,000	10,000,000
2	(※ 主要材料費)	先出し				
3	運搬費	100,000,000	先出し	50,000,000	50,000,000	50,000,000
4	運搬費	先出し				
5	事業廃止自止補償費	先出し				
6	安全費	先出し				
7	経費	先出し				
8	経費管理費	先出し				
9	労務費	先出し				
10	インターネット経費 (累計)	10.0%	3,285,000	1,000,000	900,000	1,285,000
11	共通経費	3,405,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,285,000
12	※ 共通経費	3,405,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,285,000
13	※ 共通経費	3,405,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,285,000
14	経費管理費	29.9%	10,010,000	2,747,000	32,490	3,653,000
15	経費管理費	先出し				
16	経費管理費	1円先出し				
17	経費管理費	1円先出し				
18	※ 工事管理	43,440,000	14,681,000	4,681,000	4,681,000	14,680,000
19	※ 工事管理	15.9%	6,921,000	2,089,000	2,456,000	2,089,000
20	※ 工事管理	6,921,000	2,456,000	2,456,000	2,089,000	2,089,000
21	※ 工事管理	50,369,000	17,137,000	17,137,000	7,137,000	16,895,000
22	※ 工事管理	4,029,520	1,370,360	1,370,360	871,370	1,288,600
23	※ 工事管理	4,029,520	1,370,360	1,370,360	871,370	1,288,600
24	※ 工事管理	4,029,520	1,370,360	1,370,360	871,370	1,288,600

5. 設計書金額を読み込む

合算経費計算後に設計書で金額を変更している場合に、
設計書の金額を再読込します。



をクリックします。

No	経費科目	合算経費金額		追加集計計算用金額		練習工事1		練習工事2		練習工事3	
		金額	率	金額	率	金額	率	金額	率	金額	率
1	※直接工事費**	30,000,000	1円丸め 切り捨て	30,000,000		10,000,000		10,000,000		10,000,000	
2	(※主室材料費)		丸めしない								
3	運搬費	150,000	丸めしない			50,000		50,000		50,000	
4	準備費		丸めしない								
5	事業機具停止補償費		丸めしない								
6	安全費		丸めしない								
7	労務費		丸めしない								
8	技術管理費		丸めしない								
9	労務費		丸めしない								
10	インターアップ経費(率計)		1.0000円丸め 切り捨て								
11	共通設備費率分	10.00%	3,295,000 1.0000円丸め 切り捨て	1,289,000	9.88%	988,000		3,308,000	9.30%	989,000	1,289,000
12	※共通設備費**	3,425,000	1円丸め 切り捨て	1,448,000		1,448,000		1,448,000		1,448,000	
13	※地上費**	30,425,000	丸めしない	11,548,000		11,548,000		11,548,000		11,548,000	
14	現場管理費	29,30%	10,615,000 1.0000円丸め 切り捨て	2,747,000	22.89%	3,653,000		32,89%	3,459,000	3,747,000	
15	雑費		丸めしない								
16	技術管理費		1円丸め 切り捨て								
17	施設管理費		1円丸め 切り捨て								
18	※工事賃金**	43,448,000	丸めしない	14,681,000		14,681,000		4,681,000		14,086,000	14,086,000
19	一般管理費率分	15.00%	6,921,000 1円丸め 切り捨て	2,009,004	16.73%	2,458,000		18,73%	2,458,000	2,009,000	2,009,000
20	設計管理費		1円丸め 切り捨て								
21	一般管理費計	6,921,000	丸めしない	2,458,000		2,458,000		2,458,000		2,009,000	
22	※工事集結**	50,368,000	1円丸め 切り捨て	17,137,000		17,137,000		7,137,000		16,086,000	
23	※消費税金額**	8%	4,029,320 1円丸め 切り捨て	8%	1,319,360	8%	1,319,360	8%	1,319,360	8%	1,287,800
24	※工事費計**	64,397,320	丸めしない	19,267,360		19,267,360		9,267,360		17,267,360	

「設計書金額の再読込」画面が表示されます。

合算経費の設計書で、「工事名表」に存在する設計書の一覧が表示されます。
(削除された設計書は表示されません。)

再読込を行いたい設計書にチェックを付け、
[OK] をクリックします。

設計書金額の再読込

合算経費計算後に設計書で金額を変更している場合に、その金額を読み込みなおすことができます。金額を読み込みなおしたい設計書にチェックをつけて、OKを押して下さい。

- 練習工事1
- 練習工事2
- 練習工事3

OK(Y) キャンセル(N)

再読込が完了すると再計算をするかどうか確認画面が表示されます。

合算経費の計算をしないには、[再計算する] をクリックします。

「合算経費計算」画面で、合算する設計書の金額が更新されます。


確認

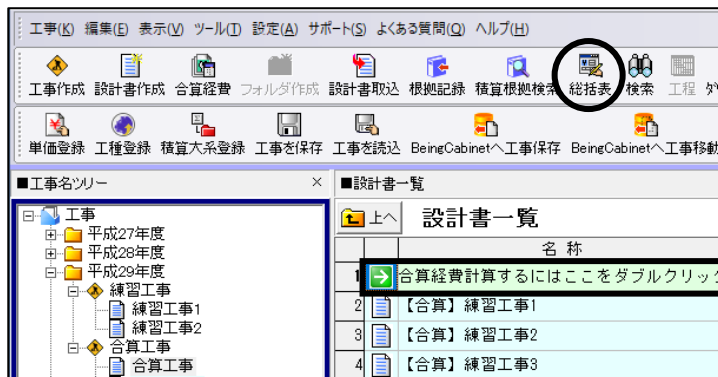
再読込したので再計算が必要です。計算しますか?

再計算する(Y) 計算しない(N)

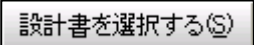
6. 合算する設計書を追加・除外する

合算経費計算後に、更に合算の対象とする設計書の追加と、合算の対象から除外する場合の手順を説明します。


「設計書一覧」画面にて、
「合算経費計算をするにはここをダブルクリック」にカーソルを合わせ、ツールバーの  をクリックします。



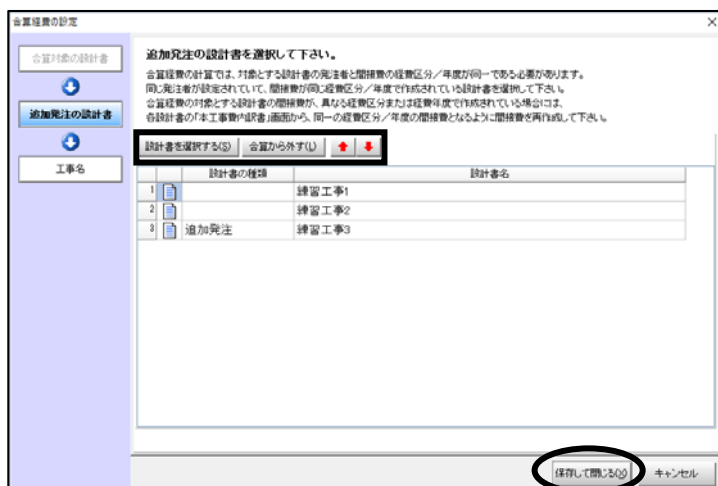
「合算経費の設定」画面が開きます。


 . . .

新たに合算の対象にする設計書を選択し、追加します。

 . . .

合算の対象から除外します。



「合算経費の設定」画面に表示された設計書の並び順で「合算経費計算」画面に表示されます。必要があれば、 で合算する設計書の順序を変更して下さい。

よろしければ、[保存して閉じる] をクリックし、画面を閉じます。

合算経費に新たに追加すると、「追加発注」として扱われます。
この画面で追加発注の設計書ではない設計書を追加することはできません。

合算経費から外すことができるのは、「追加発注」となっているものだけです。
この画面で追加発注の設計書ではない設計書を外すことはできません。

合算経費計算結果内で、「追加発注」チェックを付けて結果を反映すると、「合算経費の設定」画面でも追加発注の扱いとなり、合算経費計算の対象から外すことができるようになります。

間接費費目	合算経費金額			追加発注計算用金額			練習工事1		練習工事2		練習工事3	
	率	金額	丸め	率	金額	率	金額	率	金額	率	金額	
結果を保持												
追加発注												
* * 直接工事費 * *		30,000,000	1円丸め 切り捨て		10,000,000		10,000,000		10,000,000		10,000,000	
(更生管材料費)			丸めしない									

合算経費の設定

合算対象の設計書

↓

追加発注の設計書

↓

工事名

追加発注の設計書を選択して下さい。

合算経費の計算では、対象とする設計書の発注者と間接費の経費区分/年度が同一である必要があります。同じ発注者が設定されていて、間接費が同じ経費区分/年度で作成されている設計書を選択して下さい。合算経費の対象とする設計書の間接費が、異なる経費区分または経費年度で作成されている場合は、各設計書の「本工事費内訳書」画面から、同一の経費区分/年度の間接費となるように間接費を再作成して下さい。

設計書を選択する(S) 合算から外す(L) ↑ ↓

No	設計書の種類	設計書名
1		練習工事1
2	追加発注	練習工事2
3	追加発注	練習工事3

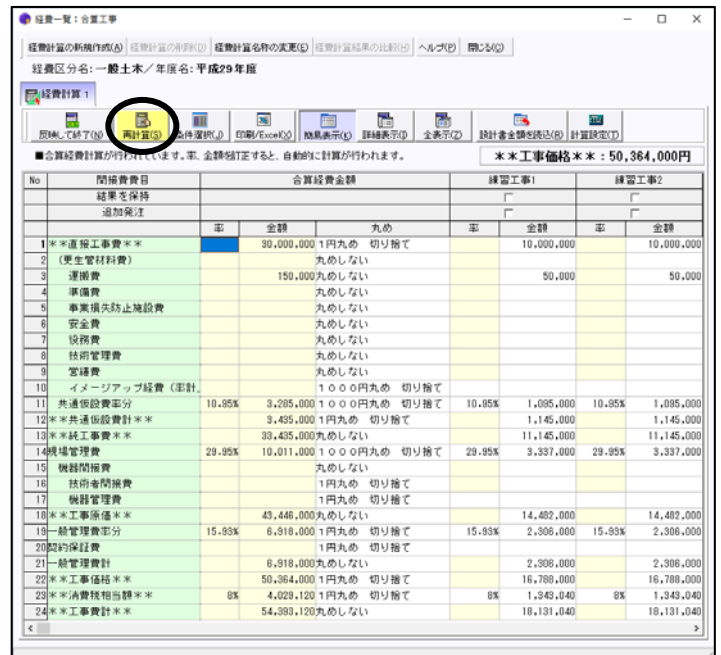
合算経費で追加・除外を行うと、再計算が必要となります。

「設計書一覧」画面で、「合算経費計算するにはここをダブルクリック」をダブルクリックすると、「経費一覧」画面が表示されます。

設計書の追加または除外を

行った場合、 が黄色く点滅しています。

[再計算] をクリックすると、本工事費内訳書の内容を読み込み、再計算が行われます。



経費一覧：合算工事

経費計算の再計算(再) 経費計算の再計算(再) 経費計算結果の比較(再) ヘルプ(再) 閉じる(再)

経費区分名：一般土木 / 年度名：平成29年度

■合算経費計算が行われています。率、金額を訂正すると、自動的に計算が行われます。 * * 本工事価格 * * : 50,384,000円

No	間接費費目	合算経費金額			練習工事1		練習工事2	
		率	金額	丸め	率	金額	率	金額
	追加発注							
1	* * 直接工事費 * *		30,000,000	1円丸め 切り捨て		10,000,000		10,000,000
2	(更生管材料費)			丸めしない				
3	運搬費		150,000	丸めしない		50,000		50,000
4	準備費			丸めしない				
5	事業損失防止施設費			丸めしない				
6	安全費			丸めしない				
7	役務費			丸めしない				
8	技術管理費			丸めしない				
9	営繕費			丸めしない				
10	イメージアップ経費(率計)			1000円丸め 切り捨て				
11	共通仮設費率分	10.95%	3,285,000	1000円丸め 切り捨て	10.95%	1,095,000	10.95%	1,095,000
12	* * 共通仮設費計 * *		3,435,000	1円丸め 切り捨て		1,145,000		1,145,000
13	* * 純工事費 * *		33,435,000	丸めしない		11,145,000		11,145,000
14	現場管理費	29.95%	10,011,000	1000円丸め 切り捨て	29.95%	3,337,000	29.95%	3,337,000
15	機器間接費			丸めしない				
16	技術者間接費			1円丸め 切り捨て				
17	機器管理費			1円丸め 切り捨て				
18	* * 工事原価 * *		43,446,000	丸めしない		14,482,000		14,482,000
19	一般管理費率分	15.93%	6,918,000	1円丸め 切り捨て	15.93%	2,306,000	15.93%	2,306,000
20	契約保証費			1円丸め 切り捨て				
21	一般管理費計		6,918,000	丸めしない		2,306,000		2,306,000
22	* * 工事価格 * *		50,384,000	1円丸め 切り捨て		16,788,000		16,788,000
23	* * 消費税相当額 * *	8%	4,029,120	1円丸め 切り捨て	8%	1,343,040	8%	1,343,040
24	* * 工事費計 * *		54,393,120	丸めしない		18,131,040		18,131,040

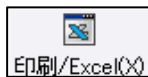
合算経費

合算経費を印刷する

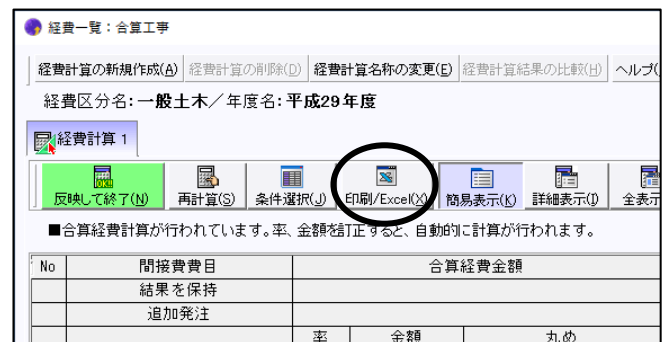
合算経費計算の結果一覧を印刷または Excel 出力します。

1. 「合算経費印刷」画面を表示させる

合算経費の「経費一覧」画面にて、ツールバーの



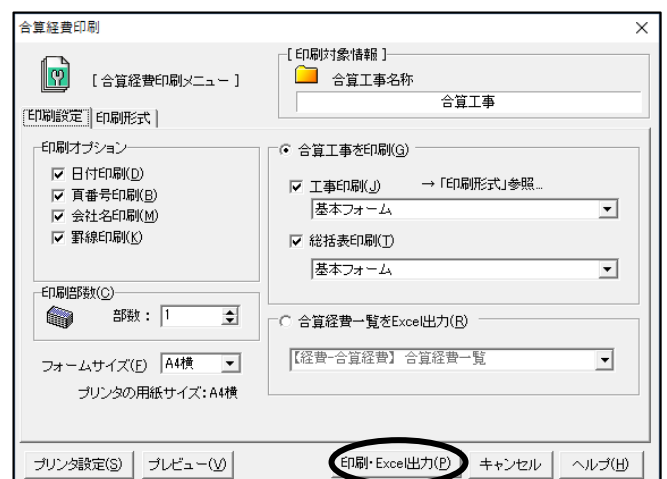
をクリックします。



2. 「合算経費印刷」の設定を行う

「合算経費印刷」画面が表示されます。

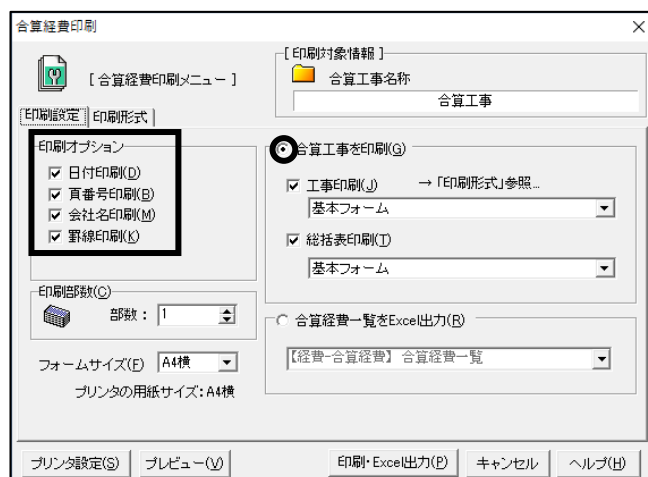
印刷オプション、印刷フォーム、
フォームサイズ等を設定し、
[印刷・Excel 出力] を
クリックして下さい。



■合算経費を印刷する

[合算工事を印刷] が選択されている場合は、合算経費の総括表、それぞれの合算する設計書の直接工事費、間接費が出力されます。

[印刷オプション] の□欄のチェックを外すことにより、その項目を印刷しないようにすることができます。



●印刷形式の選択

「印刷形式」タブをクリックし、間接費の印刷方法を選択します。

- **工事毎に間接費を印刷**
それぞれの合算する設計書の直接工事費に続いてそれぞれの合算する設計書の間接費が印刷されます。
- **合算の間接費を印刷**
それぞれの合算する設計書の直接工事費が印刷された後、合算経費の間接費が印刷されます。



■合算経費一覧を Excel 出力する

[合算経費一覧を Excel 出力] が選択されている場合は、合算経費の条件、間接費の一覧を Excel 出力することができます。

